

どうやって作るの？

段ボールコンポスト？

1 生ゴミはなるべく
小さく新鮮なうちに投入



2 生ゴミを入れたら混ぜる
※スコップは鉄でないもの



3 雨の当たらないところに置く

※段ボールの底に
新聞紙 2 枚敷く

4 床や壁から 5 cm くらい離す
※通気性をよくする

5 3～6 ヶ月くらい使い
べとついたら終了
▶ 10 日 攪拌 ▶ 2 ヶ月 放置

7 分解しにくいので入れないほ
うが いいもの [とうもろこし
の芯・梅干しや果物の種・鶏
の骨や貝殻・玉ねぎの皮・防
腐剤の付いた果物の皮など]



基材

ピートモス・燐炭の Mix
(6 対 4 の割合)

※底はガムテープで
しっかりふさぐ

※温度を上げるために甘いモノや古い油
(100～200ml) を入れるとよい

6 堆肥として使える



Tシャツでふたを作るとよい。
古いTシャツの口を縫ったものを蓋にします。
(段ボールの口から虫の侵入を防ぐため)

Tシャツの口を
3箇所縫う



できあがり！



基材は どこで手に入れるの？

基材 (ピートモス・燐炭の Mix)
600 円で購入できます。

熊谷市地球温暖化防止活動推進センター
月～木曜 9 時～ 16 時
熊谷市役所江南庁舎 3 階 TEL : 048-536-0557
問い合わせ、相談は時間内に随時行っています。

生ゴミが 堆肥になる仕組み

森にはたくさんの生物や植物がい
ます。
森の土の上にはたくさんの落ち葉が重
なり、その下にはミミズやダンゴムシ、
微生物などがたくさんいます。
彼らは分解者と呼ばれ、落ち葉や枯れ
枝、生き物のふんや死がいなどを分解
し、植物の成長に欠かすことのできな
い栄養分の豊富な土壌を作っています。

このような自然界での循環を、
段ボールの中で
再現したものが、
段ボールコンポストです。

何で今 段ボールコンポスト？

段ボールコンポストの メリット

家庭内で生ごみの
臭いがしなくなる

ゴミ出しが
楽になる

のちに堆肥で
使える

CO²の
削減になる

三角コーナーが
無くせる
(シンクが広々)

用具が簡単で
安い

室内でできる

ゴミの減量化は、
焼却エネルギーの節約につながり、
地球温暖化防止にも大いに役立ちます！

